

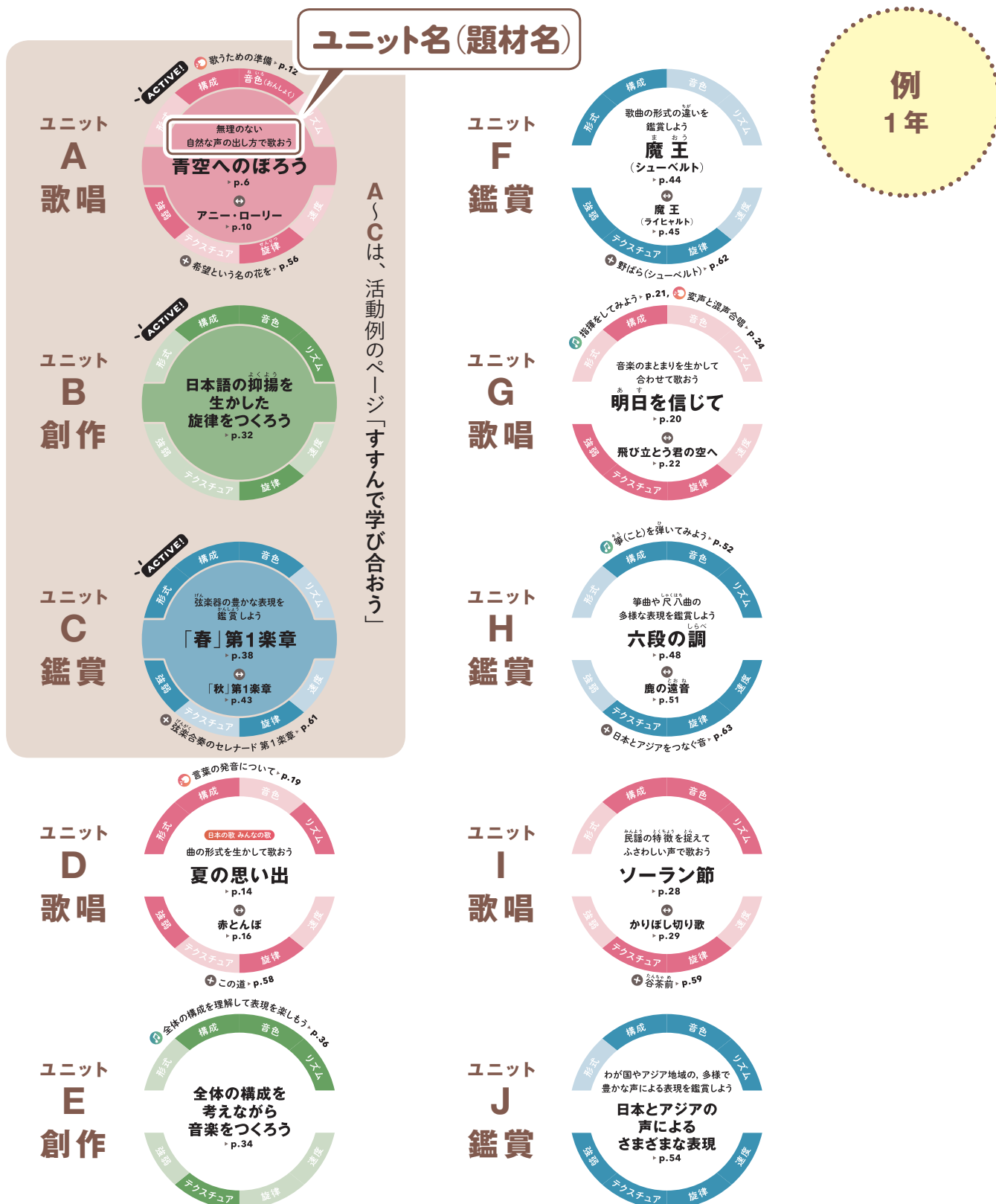
# 音楽科の学びを支えるカリキュラム「学びのユニット」について

生徒の興味を喚起し関心を高めるとともに、主体的に協働的に学ぶことができるよう、教材の配列を工夫して、学習内容の関連を図りました。全学年を通じて**学びのユニット**として示しました。

学びのユニットは、1年と2・3年上は10ユニット、2・3下は8ユニットで構成しています。

## 学びのユニット一覧

「中学音楽 1 音楽のおくりもの」では、**A～J**までの10の学びのユニットで学習することで、学習指導要領を適切に取り扱えるようにしました。各ユニットは、領域・分野ごとに構成し、学習評価までを見通した計画的な学びが展開できます。

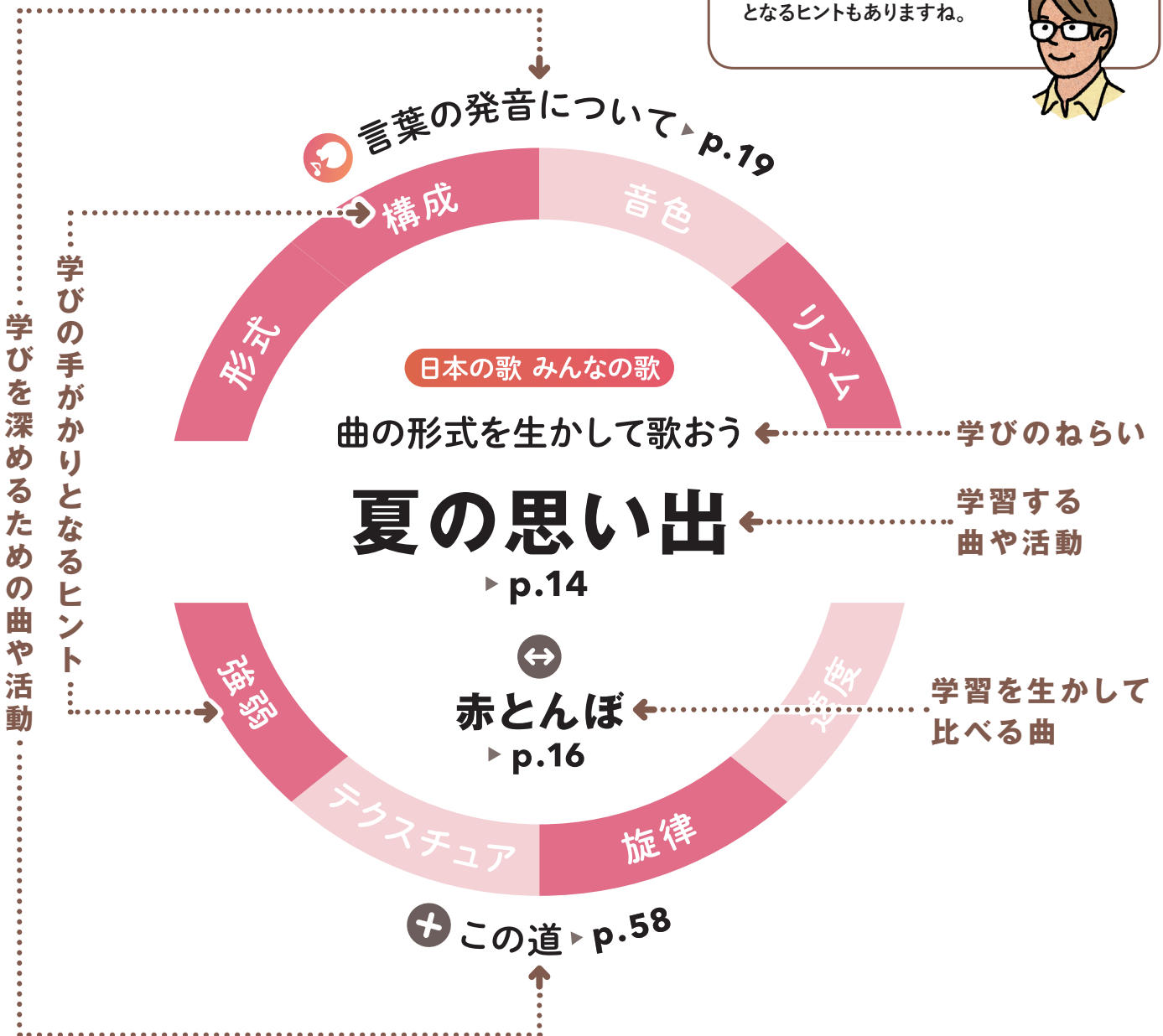


A～Cは、活動例のページ「すすんで学び合おう」

1年

# 学びのユニット

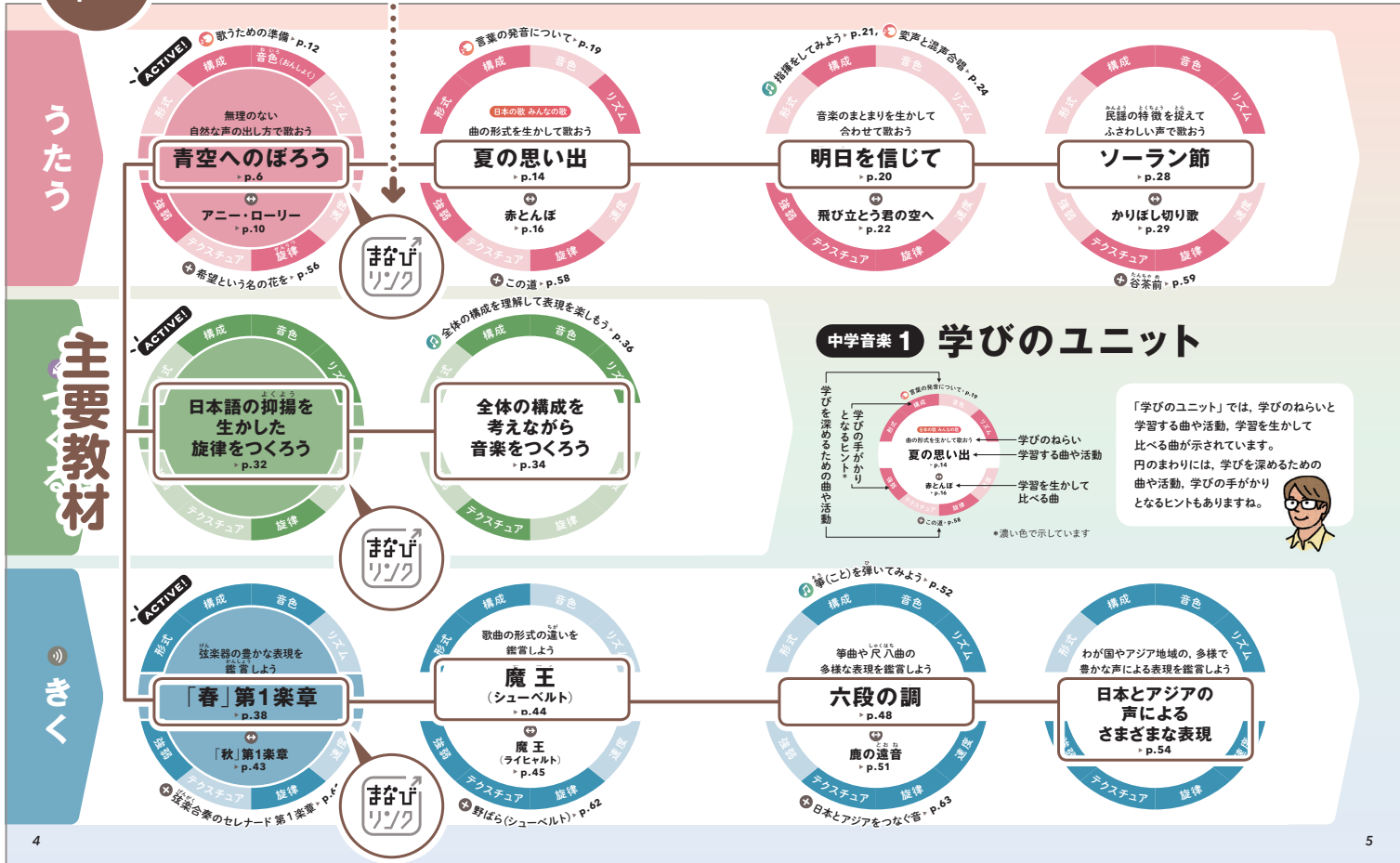
「学びのユニット」では、学びのねらいと学習する曲や活動、学習を生かして比べる曲が示されています。円のまわりには、学びを深めるための曲や活動、学びの手がかりとなるヒントもありますね。





学習に役立つ情報を集めた  
教育出版のウェブサイト  
「まなびリンク」をご活用いただけます。

1年  
p.4



## 学びのユニットQ&A

**Q** 主要教材のみを使った  
学習はできますか？

**A** はい、できます。  
「主要教材をじっくり学ばせたい」  
といった学習への変更は可能です。

**主要教材の配置** (歌唱表現の場合)

- 「青空へのぼろう」…歌唱活動の導入
- 「夏の思い出」…歌唱共通教材
- 「明日を信じて」…合唱活動の導入
- 「ソーラン節」…わが国の伝統的な歌唱

**Q** 「比べてみよう」「深めてみよう」は  
入れ替えたり変更したり  
できますか？

**A** はい、できます。  
生徒や学校の実態に合わせた  
カリキュラム・マネジメントが可能です。